

## 地域医療・総合診療実践学寄附講座



講座 HP



### 1. スタッフ

特任准教授	あらき さとし 荒木 智
特任助教	さどはら みちと 佐土原 道人
特任助教	きたむら たいと 北村 泰斗
特任助教(河浦拠点)	つるだ しんぞう 鶴田 真三
特任助教(くまもと県北拠点)	なかむら たかのり 中村 孝典
(地域医療支援センター)	
特任助教	たかやなぎ ひろし 高柳 宏史
(総合診療科/地域医療支援センター)	
教授/センター長	まつい くにはこ 松井 邦彦

### 2. 寄附講座の特徴

当寄附講座は、平成 21 年 1 月 1 日に設置された地域医療システム学寄附講座が平成 28 年度に「地域医療・総合診療実践学寄附講座」と名称を変更し、地域医療に関する卒前からの継続的な教育、総合診療専門医の育成、地域の医療機関における診療支援、並びにこれらに関連する研究を行うことを目的として設置されたものである。熊本大学病院 総合診療科及び地域医療支援センターと連携し熊本大学医学部の学生（特に地域枠等の学生）の教育指導を行うとともに、熊本県における地域医療の課題解決に取り組んでいる。

### 3. 地域医療への貢献

- 各地域への地域医療支援に関しては、くまもと県北病院、天草市立河浦病院、天草市立御所浦診療所、上天草総合病院、天草地域医療センター、小国公立病院、阿蘇医療センター、そよう病院、有明医療センターにおいて、診療支援を行った。
- 松井教授、荒木特任准教授が地域医療支援機構の理事も務め、医療政策提言を行った。

### 4. 医療人教育の取り組み

令和 3 年 4 月に天草市立河浦病院に第 3 の教育拠点「地域医療・総合診療実践学寄附講座河浦教育拠点」を設置した。

また、同年 10 月には玉名教育拠点は病院の移転・病院名の変更に伴い、「くまもと県北教育拠点」に名称を変更した。

#### <教育拠点>

教育拠点に関しては、総合診療科、地域医療支援センター、各教育拠点と連携して、次のような取り組みを行っている。くまもと県北教育拠点については、総合診療専攻医の教育、初期臨床研修、地域医療・総合診療に係る学生実習の拠点として活動。現在 2 人の総合診療科の専攻医が勤務しており、くまもと県北病院との連携により本人のキャリア形成に向けた取組みを行っている。

また、令和 3 年 4 月から天草市立河浦病院に新たな教育拠点を設置し、へき地の中心的な医療機関における地域で必要とされる医師の育成・教育機能向上を図っている。令和 3 年 10 月から総合診療科の専攻医が配属になり、当講座の教員の指導の下、診療を行っている。

#### <卒前教育>

##### ① 地域医療ゼミ

地域枠学生等（熊本県医師修学資金貸与学生）を主な対象に実施している地域医療ゼミは、今年度は新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い、主に対面形式での開催となった。「多職種連携」「コミュニケーション」をテーマにした講演や「シネメデュケーション」、「熊本県医師修学資金貸与医師キャリア形成プログラム」の説明等合計 11 回の活動を行った。

##### ② 地域医療特別実習

地域医療特別実習は、将来、熊本県の地域医療に携わる熊本県医師修学資金貸与学生（熊大生）及び熊本県出身自治医科大生が、地域医療の現場に接することによって、地域医療の現状を知り、問題点を自ら学び、さらには地域医療の魅力を発見することを目的として毎年夏に開催している。今年度は、令和元年 8 月以来 4 年ぶりの実施となった。8 月 16 日～17 日の日程で天草上島・御所浦地域において実施した夏季地域医療特別実習には、20 名の貸与学生及び自治医科大生が参加した。さらに、12 月 25 日～26 日の日程で阿蘇地域において実施した冬季地域医療特別実習には、大学の試験等のために夏季地域医療特別実習に参加できなかった 12 名の貸与学生が参加した。

##### ③ その他医学部授業、実習等

#### << 4 年生 >>

##### 【 総合診療学 】

本年度は、「総合診療概論 1～8」および「臨床推論演習 1～2」のテーマで、昨年同様全 10 コマを担当し、試験実施と評価を行った。

#### << 5・6 年生 >>

##### 【 特別臨床実習：総合診療 】

大学病院、くまもと県北教育拠点、河浦教育拠点の 3 か所で実習を実施した。大学病院 11 名、くまもと県北 26 名、河浦 7 名の合計 44 名に実習を提供した。

##### 【 その他 】

医学部からの協力依頼に基づき、公衆衛生学、臨床実習入門について、当寄附講座教員、総合診療科教員及び

地域医療支援センター教員で授業の一部を担当した。

#### <卒業教育>

##### ① 臨床研修医

熊大病院群初期臨床研修プログラムで総合診療科（大学病院）を選択した初期臨床研修医1人に対し、総合診療・地域医療に関する教育指導を行った。

##### ② 専攻医

当寄附講座では、新専門医制度における「熊本大学総合診療専門医プログラム」を平成30年4月から開始し、今年度は専攻医6人に対し教育指導を行った。

また、研修の支援・指導の充実を図るため、Zoomを用いた個人面談の頻回実施と、レジデントデイは4回開催した。さらに、テレビ会議システムを活用し、今年度は6回、症例検討を遠隔で指導するとともに、専攻医等の研究発表をテレビ会議システムを通じて各病院へ配信した。（合同Webカンファレンス）

本年度の当プログラムの応募状況は採用者1名であった。

#### <卒前・卒業教育>

地域枠学生等をはじめ、医学科学生、研修医及び総合診療に関心のあるすべての医療従事者等に対し、熊本県内（九州内）の総合診療医の連携強化及び他専門科への総合診療の知名度向上のため「総合診療セミナー」を、総合診療への理解がより深まるよう「総合診療グランドラウンド」を毎年継続して開催している。

##### 【総合診療セミナー】

- ・9月20日 第13回 総合診療セミナー

「もう一度“DNAR”を勉強しなごう！」

講師：熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座  
（くまもと県北教育拠点）

中村 孝典 先生

##### 【総合診療グランドラウンド】

- ・10月19日 第19回 総合診療グランドラウンド

「プライマリ・ケア外来での聴き方

—Well-being 迫る医療面接—

講師：まどかファミリークリニック

院長 加藤 光樹 先生

- ・12月21日 第20回 総合診療グランドラウンド

「アンゴラ共和国からの報告：総合診療医の軌跡」

講師：外務省在アンゴラ日本大使館参事官兼医務官

高橋 理 先生

#### 5. 研究活動

- ・トレハロースによる腸・脳・心関連の解明 荒木智  
（基盤研究（C）代表）

・地域医療研修による研修医のレジリエンスの変化に関する質的研究 佐土原道人

・働き方改革のためのホスピタリスト・システムの導入に対し、米国で働く日本人ホスピタリストはどのような見方をしているか？ 佐土原道人

・地域医療研修による研修医のレジリエンスの変化に関するアンケート調査 佐土原道人

・研究倫理と公正に係る患者・市民参画（PPI）に関する質的研究 佐土原道人

・ポストコロナの地域医療特別実習の教育的効果とコミュニティへの視点に関する研究 佐土原道人

・日本医療研究開発機構 研究公正高度化モデル開発支援事業 医療分野の「責任ある研究・イノベーション（RRI）」推進に資する取り組み 佐土原道人（AMED 分担）

・軽症・中等症として入院した COVID-19 患者における入院長期化の関連因子 代表：北村泰斗 分担：佐土原道人